質

委

会

算

決

結

※すいた 市議会だより

(No. 333

9月定例会・新年号

編集:議会広報委員会 発行:吹田市議会 ◎吹田市泉町1丁目3番40号 ◎直通電話06(6384)2663/FAX06(6338)0920

、 て 議

決等をしました。

ま

したが、これらを除くその

他の議案は

澤田

藤木

◎市議会のホームページは 「吹田市議会 | 検索 | (https://www.city.suita.osaka.jp/shigikai/index.html)

件の

市会議案が提出され

まし でする さ

た。

(委員会で

14

15

面に掲載

審

査内容の

部は8~

亩

◎本会議のインターネット放映(生中継・録画放映)を実施しています。「議会中継(インターネット)」からぜひご覧ください。

議員

からは手話言語

の普及及び障害者

意思疎

通手段の

利用を促進

条例制定案な

主な掲載内容

9月定例会の概要 …… 1 代表質問・質問(個人質問) ······2 ~ 7

常任委員会の審査から

······8 ~11 決算常任委員会の提言ほか

12 議員提出議案(手話言語条例案、

特殊詐欺の撲滅に関する決議) 13

議決結果……… 14、15

意見書、議会日誌等……

決算常任委員会に付託. 会を開きました。 ·算案(第5号)をはじめ、 |理等委託料の追加等を計上した一般会計補正 における人件費や光熱費等の高騰に伴う給食 月13 議案が市 長提出議案のうち、 般会計および8特別会計の決算認定 ービスセンター条例等の改正案など、 日から10 長から提出されまし 本定例会では、 月10日までの会期で9月定例 Ų 令和4年(2022年 継続審査とすること 市税条例や市立老人 中学校給食

件の

 \widehat{O}

明けましておめでとうございま

(議員名) (住 所) (電話) (議員名) 議長 江口礼四郎 長野東6番4-205号 野田 泰弘 日の出町 06-6383-6640 浜川 劅 片山町 副議長 井上真佐美

透 上山田1番12-1101号 白石 090-3381-8729 議員 洋平 山田西2丁目18番A13-202号 090-5899-9339 益田 梶川 文代 日の出町9番29号 06-6319-3337 五十川有香 五月が丘東9番12メゾン南千里102号(*) 06-4864-2874 西岡 友和 藤白台 久保 直子 080-4235-1407 竹見台 中西 勇太 円山町6番21-101号(*) 080-8125-7813 石川 勝 垂水町1丁目31番22号(*) 06-6337-7701

恭平 後藤 西の庄町2番28号(*) 06-6380-8802 06-4860-2300 由真 寿町1丁目1番1号寿ビル2階(*) 06-6382-3413

玉井美樹子 日の出町13番3号(*) 山根 建人 南清和園町7番9号1階(*) 村口久美子 山手町

後藤久美子 藤白台

川田 尚 垂水町 (住 所)

(電 話)

06-6319-8172 06-6338-3039 南金田1丁目11番22-403号 06-6369-7205 竹村 博之 垂水町3丁目24番14-820号 090-1027-8954 塩見みゆき 長野東9番9-403号 06-6876-7058 柿原 真生 佐竹台4丁目1番10-214号 06-6831-5664 清水 亮佑 山田東1丁目16番6号(*) 090-7104-2815 今西 洋治 江坂町 林 恭広 050-5469-9118 佐竹台

矢野伸一郎 千里山西 06-6380-3689 小北 一美 古江台5丁目2番A2-402号 06-6872-2560 橋本 潤 垂水町1丁目9番23号 06-6339-0141 乾

末広町2番9号

詮 泉町

直己

栄亮

高村 将敏 朝日町15番32号 直美 泉町5丁目7番16号 泉井 智弘 江坂町3丁目28番1号(*)

06-7161-4035 080-2476-6545 千里山西1丁目38番14号千里山ユヤマビル2階(*) 06-6310-5757

080-6118-0391

住所および電話番号の掲載内容は、各議員の意向によるものです。住所欄の(*)は連絡所を表しています。 議員の年賀状は、答礼によるものを除き公職選挙法で禁止されています。

06-6382-9009

06-7650-5220

(議席番号順)

06-6556-6974

代表質問 問 質 につ

部を質問順にお伝えします。(表記方法は会派の意向を尊重しています。また、記事の内容は令和5年9 月定例会の代表質問・質問時点のものです。)

会議録をご覧ください。会議録は、市役所の市民総務室(情報公開)、 います。

代 問

今定例会では5会派が代表質問を行いました。

保護者の孤立を防ぐ取り組みを 吹

問

答市長 知することの重要性を認識している。 護者等に対し、相談先等を事前に周 ブックやホームページに必要な情報 べきと考えるが、市長の見解を問う。 保護者の孤立を防ぐ取り組みを行う 先等を示すハンドブックを作成し、 う保護者がいる。対応の指針や相談 や不安を抱え、孤立感を深めてしま を掲載し、 入学時等に配付する学校ハンド わが子の不登校等の対応に悩み 入学や転入する子どもの保 適切な情報発信に努める。

動物愛護事業推進の財源確保を

民の意向が反映できるクラウドファ 資金を募ることは、他市事例も多く と納税やクラウドファンディングで 討の余地があると答弁した。ふるさ の活用に関する質問を行い、 護事業の推進に向けたふるさと納税 有効だと考えるが、進捗状況を問う。 ンディング等の実施を検討している。 してきた。 この間、財源確保の手法を模索 令和3年9月定例会で、動物愛 動物愛護に関心の高い市 市は検

⊞

有が 澤さ

由ゆ 真‡

SSW全校配置で支援の充実を

実に向け、関係部局と調整を進める。 的である。子どもへの支援体制の充 援体制の充実を図るべきでないか。 進め、不登校対策など子どもへの支 も安心である。常勤化と全校配置を は、子どもだけでなく大人にとって 有するSSWに常時相談できる環境 かつ安定的な人員体制の構築に効果 に1名配置している。専門的知見を Ⅰ(SSW)を、各中学校ブロック 常勤化等の環境整備は、長期的 現在スクールソーシャルワーカ

るなど、啓発を強化すべきでないか。

高生にも対象を広げて講座を実施す

防ぐため、長期で対策を計画し、中 座を実施している。若年層の犯罪を

サービスコーナー廃止を見直せ

中高生等への特殊詐欺対策について、

ある世代に向けた啓発も必要である。

大学生に限らず、広く可能性の

対策本部内で協議調整を進めていく。

学校における掃除教育の拡大を

令和4年5月定例会で、豊津第

早急に廃止する理由はあるのか。 職員が直接対応することで、安心し 際し、利用者の意見を聞くべきだが、 問 から、見直し計画に基づき廃止する。 の利用が広く定着していることなど 及により、コンビニでの証明書交付 て手続きができるという声もある中 由でパブリックコメントを行わない。 市は平成29年度に実施済みとの理 マイナンバーカードの急速な普 市民サービスコーナーの廃止に

日本共産党

玉井美樹子

Ė

民

泉が 井ぃ

智も 弘2

本市では特殊詐欺対策が急務と

なる中、高齢者への対策だけでなく、

大学生を対象とした闇バイト防止講

闇バイト防止対策を強化せよ

筋について検討を深めるよう求める。 実施しているモップ等を取り入れた た。教育委員会には、時代に即した きと考えるが、市長の見解を問う。 も先進的な掃除教育を進めていくべ 拡大を提案した。公立小・中学校で 新たな掃除教育について、他校への 掃除方法の在り方とその一般化の道 成果が認められるという報告を受け 答市長 これまでの試行で、一定の |小学校と企業との共同研究として 導と直接訴えかける啓発を検討する。

責を果たすため、

服務規律の徹底指

教職員が高い倫理感で職

問

大阪維新の会 井ぃ

大阪・

関西万博の機運醸成を

を切ったが、さらに機運醸成を図る

援教室では、一CTの活用など多様

新たに設置される未来型教育支

な計画を実現するために、人材確保

大阪・関西万博の開催まで2年

直ぉ

美科

ボした物品の制作等を企画しており 配布物の作成等を実施してはどうか。 ラクター等とコラボレーションした 公式テーマソングの放送、 付自転車のナンバープレートの交付 行うべきと考える。例えば、 すいたんとミャクミャクがコラ 市は市民に見える取り組みを 公式キャ 原動機

問

教室設置後も、ニーズに応じて

答市長

であり、

その必要性は認識している 高レベルの人材確保は重要 が重要と考える。

市長の所見を問う。

事として認識できる対策を検討する。 事態であり、今後も、各教職員が自分 律の徹底に向けた今後の対策を問う。 に至った市の責任は大きい。服務規 ると明言していた中で、今回の逮捕 以前から教職員の服務規律を徹底す 成年へのわいせつ行為で逮捕された。 教職員全体の信頼を失墜させる

未来型教育支援教室の在り方



浜ま 党

剛是

さまざまな取り組みを行う。

取り組みを更新し、子どもたちに寄

り添った支援を継続すべきでないか

設置後も子どものニーズ把握等

教職員の服務規律の徹底を図れ

本市の学校に勤める教員が、

アリー ナ建設予定地区の発展を

家の意見を踏まえ、

研究を継続する。 他市動向や専門

に努めるとともに、

問

当面は、 両副市長とともに全体の統制を図る。 展に向けて取り組むべきでないか。 的な組織を立ち上げ、当該地区の発 駅前のアリーナ建設は、当該地区が 画部を中心に発展に向けて取り組み 極的に提案すべきである。全庁横断 なるよう市としても事業予定者に積 新たなスポーツや文化の発信拠点と 大阪府が予定する万博記念公園 手続きの窓口となる都市計 関係部局で連携しながら、

市議会ホームページから会議録の検索、 閲覧ができます

パソコン、スマートフォン等で、議会の会議録(本会議録、委員会記録)をご覧になれます。 なお、本会議については、正式な会議録が作成されるまでの間、速報版を掲載しています。 (速報版は、本会議最終日(討論・採決)から、おおむね20日以内にその会期中の会議録を掲 載し、正式な会議録を会議録検索システムに掲載した時点で削除します。)



本会議録の速報版の閲覧方法

①をクリックすると、閲覧したい日の会議録 が選べます。

会議録検索システムの閲覧方法

②をクリックすると、検索システムのトップ 画面が表示されますので、右上にある「検索」 ボタンをさらにクリックし、表示された画面

内の対象年、キーワード、発言 者、会議の種類などの条件を絞 り込めば、質問や答弁を検索す ることができます。



検索システム



問 個 人質

今定例会では28人の議員が質問(個人質問) を行いました。



明 郎る

矢や野のはん

高齢者の移動支援を拡充せよ 本市では、65歳以上の通院困難

用率は40%前後で、まずは利用率向 拡充を希望する声がある。 者に、タクシー代の一部を助成して 上を図れるよう助成内容を検討する。 対象基準の見直し等が必要でないか。 クシー利用は家計への負担も大きく、 価高騰等の影響で、年金生活者のタ いるが、対象者が限定的である。物 利用者アンケートで、助成額の 現在の利



日本共産党 村口久美子

分配慮して進めるよう国に要望する。 混乱を伴う。円滑な移行に向け、十 **宮市長** 国全体に関わる制度変更は しないよう国に求めるべきでないか。

市主導で市民病院跡地の活用を

引き続き、市民病院と協議を行う。 の の へ ための再検討が必要だと考えており、 祉・教育施設の充実や市民の声を踏 は看過できない。市の購入による福 却されないまま先行き不透明な状況 答市長 地の有効活用を進めるべきでないか。 まえた検討など、市長が率先して土 旧市民病院跡地が、5年間も売 魅力あるまちづくりを進める 市が購入する予定はないも



塩見みゆき

日本共産党

吹 ⊞

石i |||^かわ 勝

江の木公園のトイレ整備は

紙の保険証の存続を要望せよ

国がマイナンバーカードと健康

問

和6年度の公園再整備工事に合わせ、 域の声を反映し決定する。また、令 計画を基に地元自治会と調整し、 利用開始までのスケジュールを示せ。 仕様に関する地域要望の反映方法や トイレの設置工事を予定している。 整備を急ぐよう強く要望してきた。 用者が多く、有事にも備えてトイレ トイレの仕様は、公園便所基本 江の木公園は、市街地にあり利 地

ってはならず、市長は保険証を廃止

よる窓□での負担割合の不利益はあ

止への懸念が大きい。紙の保険証に 情報漏えい等もあり、紙の保険証廃 保険証の一体化を進める一方、個人



大阪維新の会 高たか 村で

将き 動と

教育委員会内に情報専門組織を

に専門組織を編成すべきでないか。 的に管理できるよう、教育委員会内 の強化に加え、情報システムを総合 漏えい事案があった。セキュリティー リティーの基礎知識不足による情報 問 現在は市長部局と連携し、適切 他自治体で、教員の情報セキュ

の動向を注視し、情報収集に努める。

よう、同組合に配慮を求めていく。

同規模のシステムを有する他市

に対処している。新たな組織の構築

自 民 澤ゎ

党 B 直なお

バイローカル運動の推進を

など、関係団体への支援等を進める。 ともに、府が行う事業の周知を図る す。職員や市民等への周知を図ると 企業を巻き込んで推進してはどうか。 も全庁的に取り組み、商工会議所や 副次的な効果も期待できる。本市で 済に好影響を与え、地域社会等への 奨するバイローカル運動は、地域経 同運動は多くの好循環を生み出 市内店舗での購入や飲食等を推

大阪維新の会 後藤久美子

地域住民に配慮した駅前開発を

ど、地域住民に配慮した具体的な計 あった。工期中におけるスーパーマ 開発準備組合が、計画等を検討する。 画を示す必要があるのではないか。 の建設案には、批判的な意見が多く 工期中の生活機能が一定維持できる ーケット等の生活インフラの確保な 今後、北千里駅前地区市街地再 北千里駅前再開発の高層建築物 質

決

等



市民と歩む議員の会 五十川有香

子どもの声に寄り添う対応を

童・生徒や保護者の声を聴いていく。 護者や、全市立小中学校の保護者等 どもの声を十分に聴いた対応を求め に説明会を実施する。引き続き、児 るが、その場を設ける予定はあるか。 公的な居場所の整備であるため、子 同教室の受け入れ体制等について、 室を統合し新たな教室が開設される。 今後、在室中の児童・生徒の保 令和6年度に二つの教育支援教



大阪維新の会

江本であれいのこ 郎き

大学と連携した特殊詐欺対策を

市内5大学に機会を見て提案する。 高齢者等への周知効果も期待できる。 市特有のアイデアで、家族や近隣の ど、大学側に協力を求めてはどうか。 存在となってもらえるよう、授業の 罪に手を染めず、地域で犯罪を防ぐ への闇バイト対策も必要である。犯 **宣市長** 提案内容は、学生が多い本 環で防犯パトロールを実施するな 本市の特殊詐欺対策では、学生

政

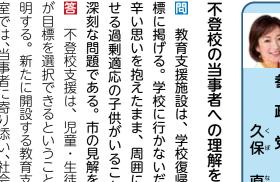
久[<] 保^{if} 直ぉ

辛い思いを抱えたまま、周囲に合わ 立等を目標とすることを検討する。 室では、当事者に寄り添い、社会的自 明する。新たに開設する教育支援教 が目標を選択できるということを説 深刻な問題である。市の見解を問う。 せる過剰適応の子供がいることは、 標に掲げる。学校に行かないだけで 不登校支援は、児童・生徒自身 教育支援施設は、学校復帰を目

以上の子供を含む若者にまで、市独 対象とした。対象でない生後6か月 重症化リスクの高い人のみ接種勧奨

自で接種券を発送したのはなぜか。

広く接種の機会を提供するため、



問

令和5年秋開始の接種で、国は

新型コロナワクチンの追加接種



大阪維新の会

詮

乾器

未来型教育支援教室について

整理し、引き続き検討を進める。 を進めている。今後、成果と課題を 登校の子どもの支援は必要であり、 実施について、教育長の所見を問う。 間での子どもたちの居場所づくりの れている。メタバース登校や仮想空 次年度開設の教育支援教室での導入 した不登校の子どもの支援が注目さ 魯教育長 メタバースを活用した不 オンライン上の仮想空間を活用



対象を限定し、

配慮を行い送付した。

材料となる情報の発信に努めていく。 必要と判断した。今後も接種の判断

全市民への接種勧奨でなく、

民 党

藤☆ 木き 栄む 亮,

二十歳を祝う式典に親族席を

備等の問題も含め、ガンバ大阪や実 新たに親族席を用意してはどうか。 ジャル氏の出演を要望するとともに、 だ効果だと考える。今年度もジャル スタジアムに変更し、有名人を呼ん 問 ここ数年、式典の参加者は右肩 行委員会の意見も参考に検討する。 向きに検討する。親族等の席は、警 上がりである。会場をパナソニック 昨年度と同様、同氏の出演を前

政

中_かなかにし

勇。 太

公 明

井上真佐

美科

端末利用の学校間格差の改善を

ともに、その質の向上に努めていく。 の機会を設け、教職員の指導力を高 めることにより、活用機会の増加と 修など改善策を講じるべきでないか。 できる重要なツールである。学校間 適な学びの実現やいじめ防止に活用 台配備された学習用端末は、個別最 で利用格差が生じており、教員の研 効果的な活用法に向けた研修等 GIGAスクール構想で一人1

市議会だよりを気軽にスマホで!

各自治体の広報紙をスマート 号(令和2年2月定例会号)以降の市議会だよ りを配信していますので、ぜひご







Android用

プリのダウンロード▶





大阪維新の会 橋は 本^もと

吹田市開発ビル㈱の経営改善を

どうかの確認は必要であり、今後の 経営状況をしっかりと見定めていく。 べきと考えるが、市長の見解を問う。 確保などに向け、経営改善に着手す 借入金を期限内に返済できる利益の などがされなかった。各銀行からの ある同社の利益を最大化させる議論 直近の株主総会で、市民の財産でも 本市が同社の最大株主であるが 積極的に経営されているか



日本共産党

建t 人と

部活動に子どもの意見の反映を

いる。 らの相談に学校等が関与し対応する。 管理やハラスメント防止を徹底して 子どもの意見を聴取すべきでないか。 指導の根絶を望む声があり、本市も 対し、生徒の状況の理解や強圧的な アンケートを行った。当該指導者に あたり、わが党は中学生や保護者に 指導者には、生徒の心身の健康 国が進める部活動の地域移行に 今後の外部委託では、生徒か



益 す 田だ

洋5 平û

山五小の統廃合は白紙に戻せ

が生じ得るが、誠実に対応していく。 実現のため、白紙に戻す考えはない。 寧に説明するため、統廃合のスケジ 保護者説明会が開かれたが、統合ま **管市長** 学校の統廃合は地域と摩擦 ュールは一旦白紙にすべきでないか。 示された。保護者の声をよく聞き丁 での期間が短いなど、多くの懸念が 山五小の山三小への統合に係る よりよい教育環境の早期



大阪維新の会

亮紫 佑ゖ

未就学児の療育支援の充実を

巡回相談の内容の充実を図りたい。 識している。今後は、回数増加と併 どのように充実させていくのか。 から、巡回相談などが不足している 国的に増加しているが、保育施設等 を図っているが、十分ではないと認 との意見がある。今後の支援体制を 私立園等の意見も聞きながら、 巡回相談について、回数の増加 療育支援を要する未就学児が全



竹t 村ts 博る 之時

千里山西デイサービスの存続を

きかけるなど、丁寧に支援していく。 調整が困難な場合、市が事業所に働 懸念されるが、十分対応できるのか。 場合、利用者の受け入れ先の確保が サービスセンターは、休日の急な対 存続を望む利用者が多い。廃止した に安心して利用できることなどから 応を含め、受け入れの幅が広く、非常 ケアマネジャーで受け入れ先の 市が廃止を決めた千里山西デイ



大阪維新の会

川か わ 世 た 尚

江坂駅周辺の一層の魅力向上を

来的なまちづくりの動向を注視する。 じて駅周辺の再整備が必要でないか。 連続性を意識しつつ、周辺地域の将 される。同地域との連動や機運に乗 緊急整備地域に指定され整備が進む いる。今後も都心部の都市機能との ニューアル等での魅力向上を進めて 一方、江坂駅周辺の魅力低減が危惧 江坂駅周辺では、公共施設のリ 新大阪駅周辺が、国の都市再生

日本共産党

吹 田

後ご 党 藤さ

平心

恭き

学校課題に積極的な行政支援を

教育の個別最適化を図るべきである。 枠組みを定め、必要な資源を投入し、 答市長 行政と教育委員会が目指す 予算措置等で積極的に支援していく。 極的に課題解決を図るべきでないか。 育委員会も同支援の一環として、積 現場は教員不足など課題が多く、教 子育て支援に力を入れてきた。学校 答副市長 本市では、待機児童の解消など 課題解決の提案があれば、



大阪維新の会

今 ま 西 に 洋⁵ 治⁵

新たな資源ごみの分別回収を

る。その分別に関し、検討の余地があ ど、新たに有効利用できるごみがあ カイロの中身が水質改善に役立つな 現在、使用済みステンレス製ボトル 施による市民意識への影響等からも、 ると考えるが、本市の方向性を問う。 積極的に推進すべきと認識しており、 持続可能な仕組みの構築や、 科学技術の進歩から、使い捨て 実

の拠点回収を検討している。

問

質

本市から依頼することはない。

健都の理念に沿

同センターと連携せずに実



公 明

生成Aーを積極的に活用せよ

題を整理し、 常に注視すべきだと考えており、課 べきと思うが、 市も可能な業務から同AIを活用す 情報漏えいなどの課題も多いが、本 働き方改革につながる。現時点では 環境が整えば、市民サービス向上や 職員がより重要な業務に専念できる 生成Aーを自治体業務に活用し Aーの利活用の可能性は、 積極的に検討を進める。 副市長の見解を問う。



原島 真 生き

日本共産党

桃山公園管理者との役割分担は

リーダーとして本気の姿勢を

管理者による処分を早急に進める。 いて、詳細な分担は定めていないが 急対応ができていないのではないか。 されたままだが、協定書に基づく応 8月の台風で折れた枝が公園に集積 市が本復旧を行うこととなっている。 時の分担は、管理者が応急対応を: 導入しており、 今回の台風による枝の処分につ 桃山公園は、指定管理者制度を 協定書における災害 わず、 喫食の実現に向け、連携を一旦外し 施する整備計画は、 てでも整備できるよう市長が率先し っていると聞く。中学校給食の全員 あるが、この連携が整備の妨げとな ーと連携した給食施設の整備計画が て同センターに依頼すべきでないか。 健都に国立循環器病研究センタ

公

美

明 党

坂☆ □[¢] 妙表 子ः

タイムラインでの対応の徹底を

物価高騰に対する消費者支援を

問

物価高騰対策として、他市では

できるよう、周知徹底を図っていく。 全員が共有し、意識して災害に対応 を開始し、全庁で共有している。今 きるため、重要な計画だと考える。 動計画)によって被害を最小限にで に基づく対応は徹底されているのか。 本市の風水害対応において、同計画 各部局が作成する同計画を職員 令和2年度より同計画での対応 風水害は、タイムライン(防災行

の3回目の実施を検討してはどうか る支援を行っている。本市も同事業 シュレス決済ポイント還元事業によ プレミアム付商品券の販売やキャッ

同事業による効果は一定認

である。引き続き、国や府、

地域経

められるが、物価高騰は国政の問題

して実施すべき対応を検討していく。 済の動向等を注視しながら、本市と



大阪維新の会

林党 恭ず 広る

市民と歩む議員の会 梶ぱ 文s 代s 代s

介護現場に寄り添った施策を

止は、 の啓発や相談窓口の周知に取り組む 実態把握に努めている。介護離職防 離職の防止にも努めるべきでないか。 理由に仕事を辞めざるを得ない介護 の実態把握を行うとともに、介護を 難民が本市にも多く存在する。現場 問 支援センターへの聞き取り等により 介護難民は、各施設や地域包括 必要な介護を受けられない介護 関係部局と連携し、事業者へ

立憲民主党

西に し おか 友を

和ず

本会議等のインターネット放映を実施しています

より多くの市民へ開かれた議会を目指すため、本会議や予算常任委 員会(全体会)のインターネット放映を実施しています。 ト放映は、パソコンのほか、スマートフォン等の携帯端末からでも視 聴できます。

市議会ホームページの「議会中継(インターネット)」からアクセスし て、ぜひご覧ください。





議会中継

常任委員会の審査から

※分科会や委員会の質疑内容等は、委員会記録をご覧ください。また、本会議での賛否の状況は、14、15面の議決結果をご覧ください。 なお、文教市民、建設環境の常任委員会には付託案件はありませんでした。

付託案件

議案第91号 一般会計補正予算(第5号)

北部消防庁舎等複合施設建設事業(土木庁舎、消防庁舎、教育センター)について、インフレスライド条項に基づく請負代金額の変更に伴う建設工事費の追加など、2億7,118万円の増額補正のほか、債務負担行為(複数年度にわたり支出を予定する事業)補正として、中学校部活動運営業務などを追加

結果は、次のとおりです。
付託案件および主な審査内容・が付託されました。

予算常任委員会 【審査案件】

議案第91号 一般会計補正予算(第5号)



〈主な内容〉

○都市魅力創造事業

400万円

大阪・関西万博を契機としたスイスとの学術お よび文化交流に係るイベント等実施費用

○戸籍住民登録事業

846万円

市民課窓口業務の最適化に向けた業務分析等に 係る検討支援業務委託料



万博関連イベントでスイスとの交流を PRする出店ブース



江坂市民サービスコーナー

○市民サービスコーナー管理事業

225万円

コンビニエンスストア等の証明書発行件数増加 に伴う市民サービスコーナー廃止による備品等 撤去業務委託料 質

決

○北部消防庁舎等複合施設建設事業

土木庁舎 2.740万円 消防庁舎 7,915万円

教育センター

4.566万円

インフレスライド条項に基づく請負代金額の変 更に伴う建設工事費の追加



建設中の北部消防庁舎等複合施設

○教育活動支援事業

2万円

中学校部活動運営業務委託事業者選定に係る学 識経験者への謝礼金

○中学校給食事業

1億77万円

人件費や光熱費等の高騰に伴う給食調理等委託 料の追加、喫食率の上昇に伴うランチボックス の追加購入費用



中学校給食で使用されているランチボックス

〈反対意見の概要〉

○市民サービスコーナーの廃止について、マイナンバーカードを持っていない人や、端末の取り扱いが不慣 れな方のことを切り捨てる冷たい姿勢は問題である。廃止についてのパブリックコメントも実施されてお らず、市民の意見を聞き、再検討することを強く求める。

中学校の部活動指導員の外部委託について、教育委員会が適切に関与し、指導者に対する研修体制の構築 など責任をもって対応すること、クラブ活動に関する子どもの意見表明権を大切にすることを求める。

○市民サービスコーナーの廃止は市民にとって寝耳に水であり、廃止の根拠や移行時期の代替案等を明確に 示す必要がある。再度の検証等を強く求め、一部事業継続という判断も検討の余地に入れるべきである。 戸籍住民登録事業における窓□業務の最適化について、コンサルタント委託する明確な理由はなく、市長 と担当課の苦情に対する認識の違いも見られる。市民に一番近い市民課窓口の業務改善は、現場を知る市 職員が対応したうえで、委託の必要性があるかどうかの検討を求める。

付託案件

議案第83号 市税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、大規模修繕工事を行ったマンションに対する固定資産税の軽減措置等を定めようとするものです。

は、次のとおりです。
付託案件および審査内容・結果1件が付託されました。
財政総務常任委員会には条例案

防犯・防災、消防、行財政など 【審査分野】 財政総務常任委員会

議案第83号 市税条例の一部改正



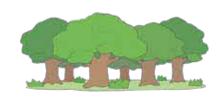
〈主な質疑項目〉

- ○固定資産税の減額期間および減額件数の見込み
- ○減額件数の見込みが僅かであるにもかかわらず、減額割合を上限 の2分の1に設定する理由
- ○市が提案している2分の1の減額割合ではなく、国の参酌基準の 3分の1の減額割合に変更する検討
- ○減額割合を議決前に市民に周知することの妥当性
- ○適切なマンション管理を促進するため、本市独自で施策を講じる 必要性
- ○特定小型原動機付自転車の標識の取り付け義務に関する市民への 周知および登録時に道路交通法の遵守を注意喚起する必要性



〈反対意見の概要〉

- ○森林環境税は国やCO₂排出企業が負担すべきで、市民に負担を 求めるものではない。また、同税は森林環境譲与税として市に配 分されるが、活用されず基金に積み立てられる可能性がある。市 として、市民の負担となる同税による森林整備等の実施ではなく、 国の一般会計における林業予算の拡充と本来需要のある自治体へ の地方交付税の拡充によって行われるよう、国への要望を求める。
- ○大規模な修繕等が行われたマンションに係る固定資産税額の減額 措置については、対象となるマンションの要件が大変厳しいもの であり、必要な修繕積立金の確保や長寿命化工事の実施に向けた 管理組合の合意形成を後押しすることは困難である。マンション の居住割合が全国3位の本市として、適正なマンション管理を推 進するための施策を国に求めるとともに、本市独自の施策を講じ るよう強く要望する。





問

決

付 託 案 件

議案第84号 老人デイサービスセンター条例の一部改正 千里山西デイサービスセンターを廃止するものです。

議案第85号 保健所事務手数料条例の一部改正

旅館業法等の一部改正に伴い、営業の譲渡に係る事務手数料を変更す るものです。

付託案件および審査内容 次のとおりです。 付託され

議案第84号 老人デイサービスセンター条例の一部改正



〈主な質疑項目〉

- ○市立デイサービスセンターが担う役割
- ○24時間365日の受け入れなど、民間では提供が 困難なサービスを市で補う必要性
- ○本施設を存続させる場合に生じる問題
- ○本施設の廃止に伴う利用者の不安を払拭するた めの市の取り組み
- ○本施設の廃止により影響を受ける関係者に対し て、市が実施すべき支援の内容
- ○他の市立デイサービスセンターの存続に関する 今後の方向性

〈替成意見の概要〉

○築50年以上経過し、建物の更新が必要である。 平成30年の大阪府北部地震のように、建物の老 朽化による事故が起きてからでは取り返しがつ かないため、本案には賛成する。

〈反対意見の概要〉

- ○本施設は利用者からの評価も高く、存続を望む 声がほとんどである。施設の老朽化に伴う修繕 料について、多額の財政負担が見込まれること などは理解できるが、施設の移行による利用者 や家族への影響が懸念されるため、本案には反 対する。
- ○利用者数も多く、介護度が高い人なども受け入 れてきた、本市にとって唯一無二の大きな存在 であるデイサービスセンターにもかかわらず、 廃止後の新しい利用先など今後の確約もできて いない状況であるため、本案には反対する。



廃止予定の千里山西デイサービスセンター

議案第85号 保健所事務手数料条例の一部改正



〈主な質疑項目〉

- ○法改正に至るまでの経過
- ○生活衛生関係営業等の事業譲渡による営業者の地位承継後に市が行う業務状況の調査方法

決算常任委員会から市に対する提言

令和4年(2022年)度の一般会計、特別会計および事業会計の決算に関する事項について、分科会 ごとに審査を行い、その内容を踏まえ、委員会として以下の提言(意見や考え)を取りまとめ、11月6 日に市長に提出しました。

なお、詳細な内容については、市議会ホームページまたはすいた市議会だより決算号(2月1日発行 予定)をご覧ください。

文教市民分科会

- 11 自治会への加入促進等について
- ② すいたフェスタ、シティープロモーション推進の イベントの補助について

健康福祉分科会

③ 保育・介護等の人材確保について

建設環境分科会

4 都市公園および遊園の適切な維持管理について

ガンバ大阪のユニフォームを着用して本会議を開催しました

平成27年(2015年)9月定例会で「市を挙げてガンバ大阪の更なるホームタウン活動を推進する決 議 | を全員賛成で可決してから8年を迎えました。今後もガンバ大阪を応援し、ホームタウン活動のさ らなる推進を願い、ガンバ大阪のユニフォームを着用して9月定例会初日の本会議を開催しました。



9月定例会本会議初日の議場の様子

問

決

全会派で提案した政策条例案を全員賛成で可決 「手話言語の普及及び障害者の意思疎通手段の利用を促進する条例」



市議会では、市内の障がい者団体などの要請を 受け、本定例会において、全会派が提案者となり、 9月22日の本会議で本条例制定案を提案しました。

本条例制定案は、本定例会最終日の10月10日の 本会議で討論・採決を行い、全員賛成で条例制定 案を可決しました。

これまで本市議会として、議会運営や議員に関す る条例の制定などについては、数多く提案してきま したが、今回は市民生活に関わる政策的な条例を可 決し制定したため、全国の地方議会でも珍しい事例 となりました。



本会議での提案説明の様子

<条例の内容>

本条例制定案は、手話への理解を促進し普及させるための施策のほか、障がい者が情報を取得しやす く、多様なコミュニケーション手段を利用しやすい環境を整備するための施策などを、市が方針を作成し たうえで推進するよう定めたものである。

特殊詐欺の撲滅に向け「即効性の高い取組の実施」と **「特殊詐欺を起こせないまちの形成」を求める決議**





本会議で決議文を全文朗読する様子

市内の特殊詐欺の被害状況は、昨年、大阪府警 察本部の警察署管内で本市が被害件数、被害総額 ともに最多となり、今年は昨年をさらに上回る被 害が想定されます。本市における特殊詐欺被害の 状況を深く受け止め、特殊詐欺被害の撲滅に向け た取り組みをより一層推進することを求め、全会 派で共同提案した決議を本定例会最終日の10月 10日の本会議において、全員賛成で可決しました。

<決議の内容>

本年8月に本市と吹田警察署が「特殊詐欺集中対策本部」を設置し、市内金融機関等と連携し、緊急か つ集中的に特殊詐欺防止の取り組みを実施している。現在実施中の市等による特殊詐欺防止の取り組み への全面的な支援を表明するとともに、市に対し、「本取組の着実な実施による即時的な効果」とそれに伴 う「特殊詐欺犯罪を起こせないまちの形成」を求め、その成果を吹田市内外にも発信し、「吹田モデル」とし て大阪府内の自治体などにも波及させることを要望する。

議決結果

<全員賛成の議案および報告案件>

議案番号	案件名		議決結果	
継続審査案件	(令和5年7月定例会提案分)			
議案第78号	令和4年度吹田市水道事業会計剰余金の処分について	決	原案可決	
議案第79号	令和4年度吹田市下水道事業会計剰余金の処分について	決	原案可決	
認定第1号	令和4年度吹田市水道事業会計決算認定について	決	認定	
認定第2号	令和4年度吹田市下水道事業会計決算認定について		認定	
報告				
報告第29号	損害賠償額の決定に関する専決処分について		報告	
報告第30号	地方独立行政法人市立吹田市民病院令和4年度の業務実績に関する評価結果の報告について		報告	
報告第31号	令和4年度吹田市決算に係る地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率等に関する報告について		報告	
条 例				
議案第82号	吹田市災害派遣手当等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	
議案第85号	吹田市保健所事務手数料条例の一部を改正する条例の制定について	福	原案可決	
議案第86号	吹田市旅館業法施行条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	
議案第87号	吹田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	
決 算				
認定第3号	令和4年度吹田市一般会計歳入歳出決算認定について	決	(継続審査)	
認定第4号	令和4年度吹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決	(継続審査)	
認定第5号	令和4年度吹田市部落有財産特別会計歳入歳出決算認定について	決	(継続審査)	
認定第6号	令和4年度吹田市勤労者福祉共済特別会計歳入歳出決算認定について	決	(継続審査)	
認定第7号	令和4年度吹田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決	(継続審査)	
認定第8号	令和4年度吹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決	(継続審査)	
認定第9号	令和4年度吹田市公共用地先行取得特別会計歳入歳出決算認定について	決	(継続審査)	
認定第10号	令和4年度吹田市病院事業債管理特別会計歳入歳出決算認定について	決	(継続審査)	
認定第11号	令和4年度吹田市母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計歳入歳出決算認定について	決	(継続審査)	
その他の議案				
議案第88号	阪急千里山駅前東自転車駐車場自動管理システム等購入契約の締結について		可決	
議案第89号	円山町 1 号橋拡幅改良工事請負契約の一部変更について		可決	
議案第90号	吹田市立江坂大池小学校校舎及び吹田市立江坂大池留守家庭児童育成室増築工事(建築工事)請負契約の一部変更について		可決	
議員提出議案等				
市会議案第18号	吹田市手話言語の普及及び障害者の意思疎通手段の利用を促進する条例の制定について		原案可決	
市会議案第19号	吹田市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について * 1		撤回承認	
市会議案第20号	人権擁護委員の推薦に関する意見について		原案可決	
市会議案第21号	ブラッドパッチ療法に対する適正な診療上の評価等を求める意見書		原案可決	
市会議案第23号	特殊詐欺の撲滅に向け「即効性の高い取組の実施」と「特殊詐欺を起こせないまちの形成」を求める決議		原案可決	
健康福祉常任委員	会副委員長の選任について		選任	

<全員賛成以外の議案>

条 例		
議案第83号	吹田市市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第84号	吹田市立老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
予 算		
議案第91号	令和5年度吹田市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議員提出議案		
市会議案第22号	核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書	否決
市会議案第24号	「議案第83号 吹田市市税条例の一部を改正する条例の制定について」に対する附帯決議	原案可決

- ※案件名の後ろに記載している文字は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。
- 閱…財政総務常任委員会、圖…健康福祉常任委員会、酚…予算常任委員会、№…決算常任委員会
- *1 市議会議案第19号については、提案議員から同議案を撤回したい旨の申し出があり、本会議で全員賛成で承認しました。

質 問

決

議

決

果 意 見 書 等

賛否一覧表

全員賛成以外の議案について掲載しています。

		大阪維新の会	日本共産党	公明党	自民党	吹田党 市民と歩	参政党 立
	議決結果	後川江清今林橋乾高井:藤田口水西本村口			石澤白泉藤田田石井木	石後有梶五川藤澤川川	
条例				議長			
議案第83号	原案可決	. 0	×	議 長 (こつ)	欠	O ×	0 0 25 9
議案第84号	原案可決	. 0	×		欠	O ×	0 0 25 9
予 算				採決に			
議案第91号	原案可決	. 0	×	○ 智 ○	欠	O ×	0 25 9
議員提出議案	ξ			-			
市会議案第22号	否決	×	0	○ ません。 ○	欠 ×	× O	× 0 15 19
市会議案第24号	原案可決	. 0	×	0 % 0	欠	× ×	× × 19 15
株ポギは〇 「5社ギは、 カ麻ギはカレ」プロナオー人ぶる・キアレルニキアレルが第2の人、カー立実アネー							

賛成者は○、反対者は×、欠席者は欠としています。会派名:市民と歩=市民と歩む議員の会、立=立憲民主党

野[®] 浜^は 川[®] 明 泰等 弘多 剛是 **党(5人)** 矢等 大學 井上真佐美 玉井美樹子 塩見みゆき

委員を選任しました 議会運営委員会小協議会

◎浜川 剛 員となった議員は、以下のと 議会委員を選任しました。委 おりです。 (◎は委員長、○は副委員長) 石川勝 新たに議会運営委員会小協 ○澤田 直己

されました。

市の発展に多大なる貢献を 委員長などを歴任され、本

会派の構成 ※会派内の順序は議席番号順 (11月1日現在)

山就平議員 にしゅうへい

市民と歩む議員の会(2人) 文s 犬s 代s

今にし

洋が治

後藤久美子

立憲民主党(1人)

井ぃ 口ぢ

※本市議会の議員定数は36人です 数は34人となっています。 5年10月31日に石田就平氏が死 去されたため、現在の議員の人 坂口妙子氏が議員辞職し、同年 が、令和5年10月20日付けで

長、健康福祉常任委員会副 建設環境常任委員会副委員 総務常任委員会副委員長、 初当選され、その間、財政 に逝去されました。 (59歳)が令和5年10月31日 故石田議員は令和元年に 市議会議員の石田就平氏

で追悼演説を行いました。 ここに、生前の幾多の功績 をたたえ、謹んで哀悼の意 元議長の石川勝議員が議場 を悼み、令和5年11月28日、 市議会では同議員の逝去

を表します。

(令和5年10月10日現在)

15

i 議案審査の詳細な内容等は、本会議録や委員会記録(図書館等での閲覧のほか、市議会ホームページの会議録検索システムからでも閲覧可能)をご覧ください。

~意 見 書・決 議~

13面の特殊詐欺の撲滅に関する決議以外に、次の決議案1件を可決し、いずれも市長に送付しました。また、意見書案1件を可決し、政府等に送付しました。(意見書・決議の一部を抜粋して掲載しています。)

○「議案第83号 吹田市市税条例の一部を改正する条例の制定について」に対する附帯決議※

- (1)本制度をマンションの管理不全の予防につながる実効性のあるものとすること。
- (2)吹田市マンションの管理の適正化の推進に関する条例に基づく届出制度によりマンションの管理状況を把握し、特に管理不全の兆候が見られるマンションに対しては、積極的なアウトリーチ型の支援として、個別にマンションを訪問し、マンション管理に関するアドバイザーの派遣を提案するなど、それぞれの課題の解決に努めること。
- (3)現在は2年間と限られている本制度の対象期間の延長を、国に要望すること。

○ブラッドパッチ療法に対する適正な診療上の評価等を求める意見書

- (1)ブラッドパッチ療法の診療報酬の算定要件の注釈に「本疾患では起立性頭痛を有しない場合がある。」旨の記載を加えること。
- (2)ブラッドパッチ療法の診療報酬において、X線透視を要件とし、漏出部位を確認しながら治療を行う ことを可能にするよう、診療報酬上の評価を改定すること。
- ※決議の種類の一つである「附帯決議」とは、議決した議案に、議会が求める留意事項等の意見を付けるものをいいます。









7月定例会閉会後の主な議会活動

開催した会議						
8月	23⊟	決算常任委員会建設環境分科会				
月	28⊟	決算常任委員会				
	1 🖯	議会運営委員会				
	5 ⊟	議会広報委員会				
	6⊟	議会運営委員会				
	13⊟	本会議、議会運営委員会				
	20⊟	本会議				
9	21日	本会議				
角	22⊟	本会議、議会運営委員会				
	25⊟	本会議、常任委員会(財政総務、文教市民、 健康福祉、予算)				
	26⊟	財政総務常任委員会、予算常任委員会分科会 (財政総務、文教市民)				
	28⊟	常任委員会(健康福祉、建設環境)、 予算常任委員会分科会(健康福祉、建設環境)				
10月	3 ⊟	常任委員会(健康福祉、予算)				
	5 ⊟	議会運営委員会				
	10⊟	本会議、決算常任委員会				

請願書や陳情書の提出について

市民の皆さんは、市政に対する要望や意見を文書にして、いつでも市議会に提出することができます。

請願書(請願を紹介する1名以上の市議会議員の署名または記名押印が必要)が議会に提出されると、委員会に付託して慎重に審査します。本会議で最終的に採択(取り上げるべき)と決定した場合は、市長に送付し、市長からは次の定例会に請願の処理の経過および結果が報告されます。

また、陳情書は、その写しを全議員に速やかに配付 し、内容の周知を図っています。

書式例

○○に関する請願 (陳情)

総介職員
(陳情の場合は不要)

(離員氏名) ○○○
○○○○
○○○○

紙)

